

阿見町(あみまち)

法人番号 3000020084433

	町章	〒 300-0392 〈住所〉 稲敷郡阿見町中央一丁目1番1号 〈TEL〉 029-888-1111 〈FAX〉 029-887-9560 〈HP〉 http://www.town.ami.lg.jp 〈e-mail〉 hishokochoka@town.ami.lg.jp	地域指定	一部事務組合加入事業	公営企業 <small>※令和5年3月31日現在</small> 法適用(上水 公共下水 農業集落排水)
	類型	V-2	地方公共団体コード	084433	面積

<行政組織>

①長等(令和5年5月1日現在)

長	ちば しげる 千葉 繁 (60歳)	任期	令和8年3月19日
		就任回数	2 期目
副町長	坪田 匡弘		

②議会(令和5年5月1日現在)

議長	平岡 博	副議長	川畑 秀慈		
任期	令和6年3月31日	条例定数	18 人	現議員数	16 人
党派別	公明3人、れいわ1人、無所属12人				

③職員数(令和4年4月1日現在) (人)

全職員数	普通会計関係		公営事業会計関係		
	うち一般行政関係				
340	312		274		28
一般行政職の平均給料月額	2,984 百円	ラスパイルズ指数	97.7	地域手当補正後ラスパイルズ指数	97.7
全職員数の推移	平成31年4月1日	令和2年4月1日	令和3年4月1日		
	309	317	327		

④機構図(令和5年4月1日現在)

<町長> <副町長> 町長 公室一秘書広聴課(広報戦略室)、政策企画課、人事課
総務部一総務課、財政課、管財課、税務課、収納課
町民生活部一町民活動課(男女共同参画室)、町民課、防災危機管理課、生活環境課、廃棄物対策課
保健福祉部一社会福祉課、高齢福祉課、子ども家庭課、国保年金課、健康づくり課
産業建設部一都市計画課、道路課、都市整備課、農業振興課、商工観光課、上下水道課
<会計管理者> 会計課
<教育委員会> <教育長> 教育部 長一学校教育課、生涯学習課、中央公民館、図書館、学校給食センター、予科練平和記念館、指導室
<議会> 議会事務局
<農業委員会> 農業委員会事務局

<概要>

①沿革

昭和30年4月1日 合併 阿見町 朝日村 君原村 舟島村(大字舟子を除く)

②地勢・風土等

阿見町は茨城県の南部に位置し、日本第2位の面積を誇る霞ヶ浦の南岸に面している。 首都東京へは南に約60km、県都水戸へは北に約40km、成田国際空港へは東南に約30kmの位置にあり、東京、水戸へはJR常磐線や常磐自動車道を利用して約1時間の距離にある。東西に11km、南北に9kmの広がりを持ち、平均海拔は21mとおおむね平坦な地形となっている。
--

③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口 (令和5年4月1日)	
	平成22年	平成27年	令和2年		
人口	男	23,794	23,496	24,237	24,859
	女	24,146	24,039	24,316	24,946
	合計	47,940	47,535	48,553	49,805
世帯数	17,969	18,801	20,225	21,555	

④有権者数(令和5年3月1日現在)

有権者数	男	女	計	高齢人口割合
	20,274	20,336	40,610	

<産業・経済>

①生産・所得(令和2年度)

市町村内総生産	2,687 億円	住民所得	1,431 億円
		人口1人当り住民所得	2,947 千円

②産業構造

区分	総生産額(令和2年度)		就業人口(令和2年国調)	
第1次	2,039	0.8 %	859	3.7 %
第2次	162,212	60.4 %	6,284	27.1 %
第3次	103,128	38.4 %	16,049	69.2 %
総額・総数	268,664	—	23,192	—

③農業・工業・商業

	農家数	主業農家数	農業就業人口
農業 (令和2年2月1日)	700	101	893
製造業 (令和3年6月1日)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (R2.1.1~12.31)
	82	7,276	359,972
卸・小売業 (令和3年6月1日)	事業所数	従業者数	年間販売額 (R2.1.1~12.31)
	312	2,641	57,134

④特産物

ヤーコン、スイカ、阿見グリーンメロン、レンコン、草人形、常陸秋そば

<財政状況>

①決算収支

(千円・%)

区分	令和2年度決算	令和3年度決算	増減率
歳入	22,869,822	20,130,640	△ 12.0
歳出	22,166,962	18,514,152	△ 16.5
形式収支	702,860	1,616,488	-
実質収支	581,901	1,455,765	-
単年度収支	133,841	873,864	-
実質単年度収支	133,844	1,389,590	-

②主な歳入・歳出(令和3年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
歳入	20,131	-	△ 2,739	△ 12.0
地方税	8,030	39.9	56	0.7
地方交付税	1,197	5.9	419	53.9
国庫支出金	4,534	22.5	△ 3,108	△ 40.7
地方債	1,498	7.4	△ 525	△ 26.0
うち臨財債	936	4.6	432	85.7
その他	4,872	24.3	419	9.4
うち繰入金	105	0.5	50	90.9
歳出	18,514	-	△ 3,653	△ 16.5
義務的経費	8,941	48.3	1,666	22.9
人件費	2,884	15.6	168	6.2
扶助費	4,311	23.3	1,136	35.8
公債費	1,746	9.4	362	26.2
投資的経費	1,703	9.2	△ 1,335	△ 43.9
普通建設事業費	1,703	9.2	△ 1,335	△ 43.9
うち補助	1,074	5.8	△ 423	△ 28.3
うち単独	625	3.4	△ 917	△ 59.5
その他の経費	7,870	42.5	△ 3,984	△ 33.6
うち繰出金	1,397	7.5	△ 27	△ 1.9

③主要指標(令和3年度)

・健全化判断基準

実質赤字比率	- % (13.22)
連結実質赤字比率	- % (18.22)
実質公債費比率	3.9 % (25.0) [6.3]
将来負担比率	- % (350.0) [28.8]

・普通会計に関する主な指標

財政力指数(令和4年度)	0.888	[0.677]
経常収支比率	83.8 %	[85.7]
標準財政規模(令和4年度)	10,584 百万円	[16,143]
地方債現在高(A)	14,995 百万円	[26,406]
債務負担行為支出予定額(B)	145 百万円	[5,315]
積立金現在高(C)	5,122 百万円	[7,343]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	10,018 百万円	[24,378]

※1 ()は早期健全化基準、[]は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均、それ以外は単純平均

④市町村税の状況(令和3年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率 []は県平均値
市町村民税・個人(構成比)	2,676,844 (32.5)	2,561,872 (31.9)	95.7 [97.2]
市町村民税・法人(構成比)	601,745 (7.3)	600,036 (7.5)	99.7 [98.7]
固定資産税(構成比)	3,872,742 (47.0)	3,802,215 (47.3)	98.2 [97.1]
市町村税合計(国保除く)	8,238,286	8,030,414	97.5 [97.3]

<公共施設整備状況>(令和3年度)

※1は令和4年度
道路改良率・舗装率は令和2年度

小学校 ※1	7 校	体育館	5 か所
中学校 ※1	4 校	プール	1 か所
義務教育学校 ※1	0 校	児童館	1 か所
幼稚園 ※1	2 園	老人福祉施設	24 か所
保育所 ※1	8 か所	病院・一般診療所	30 か所
認定こども園 ※1	3 園	道路改良率	35.5 %
図書館	1 か所	道路舗装率	63.6 %
公営住宅	306 戸	上水道等普及率	87.9 %
公民館等	6 か所	汚水処理普及率	95.9 %

<主要施策等>

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算事業費
総合計画策定事業	R4 ~	R6以降の町の総合的な運営指針となる総合計画を策定する	10 (R5)
地域予算制度〔町民参加型予算〕	R2 ~	町民が地域について考えた要望を町の予算に反映させる制度を創設し、町民の自治意識を育む	9 (R5)
二所ノ関部屋連携推進事業	R4 ~	「二所ノ関部屋」との連携・支援の推進を図り、全国へ町をPRする。	6 (R5)
都市計画道路寺子・飯倉線整備事業	H27 ~	町の東西市街地を連絡する幹線道路を整備し、町内の道路ネットワークを確立する	249 (R5)
第3子以降出産祝金支給事業	R4 ~	お子さんの出生を祝福するとともに保護者の経済的負担軽減を図るため、第3子以降の子を出産した保護者に一人20万円を支給します。	14 (R5)

②今後の主要課題・特色ある行政等

<p><主要課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域力を育む ・町民・企業・行政等の連携・協働促進 ・子どもの成長や若者の活躍を支える ・町民の暮らしを支える ・露ヶ浦等の地域資源を活かした交流 ・地域経済の活力向上 <p><特色ある行政></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民協議会や地域予算制度を通じた町政への町民参加の推進 ・18歳までの医療費無料化 ・民間保育士等の処遇改善のための助成 ・町内の三大学、一高校との連携
